



# 碧南ロータリークラブ週報

第2524回例会 平成22年11月17日(水)

●会長 奥田 雪雄 ●幹事 新美 宗和 ●会場監督 (SAA) 伊藤 正幸

2010-2011年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: [http:// www.hekinan-rc.jp/](http://www.hekinan-rc.jp/)
- E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)
- 会報委員 新美雅浩・鈴木健三・西脇博正・菅原 優



## ● 齊 唱

ロータリーソング「我等の生業」

## ● 本日のメニュー

季節のお弁当 とんがり帽子

## 会 長 挨 拶



奥田雪雄会長

年忘れ家族会の出欠席のご返事の期限が次週11月24日に迫っております。杉浦栄次君をはじめ多くの親睦委員のメンバーが頑張ってお手伝いしてくれております。

それは叶わぬ恋でした。それでもあなたを恨まない・・・ではじまります京都洛北路。出演して下さる大沢桃子の新曲です。披露してくれると思います。御家族一同、大勢の方々の出席をお待ちしております。

つい先日、メニエル病国際学会へ行ってきました。そのついでに嵯峨野まゆ村の村長に会ってきましたので、お土産に繭人形屋の恋想歌を。

最初におことわりしておきますが、モデルは私ではございませんので・。

この次には妻という名で来るのかしら 嵯峨野雨降る嵯峨野雨降る

その背景は先生に誘われて今回が二度目の京都は嵯峨野でした。病院では厳しい先生の信じられないほどの優しさに思考力を失った私はまるで人形でした。

もう一度言うておきますが、決して私ではございません雨ともいえぬ雨が降り日常とは隔離した夢の世界のどこをどう歩いているか無限に広がる陶酔境の一番濃い部分をさまよう私には私をとりまくほんの僅かな空間だけが総てでした。もしかして前の奥様と別れた先生の私は新しい奥様になるのだろうかでも私が先生の何であろうと先生が私をどう思っているかと今はただ永遠に続く愛を信じていつまでも、いつまでも醒めることのない夢を見ていたい。

目をつむり身をゆだねて聞く雨と時にまじわる靴音の甘く気怠いモノトーン

この次には妻という名でくるのかしら 嵯峨野雨降る嵯峨野雨降る

年忘れ家族会、ぜひ御出席下さいませ。

## 幹 事 報 告

- ・お手元の幹事報告の通りです。
- ・家族会は多数の出席をお願いします。
- ・赤い羽根募金は昨年同様に行いました。
- ・入会候補者についてご意見がある方はお申し出ください
- ・インターシティ・ミーティング フォーラムでの発言者は長田豊治さんに決定しました。



新美宗和幹事

## 委員会報告

### 〈出席奨励委員会〉

総会員数73名(内出席免除者15名の内出席者9名)出席者56名	
出席対象者 56/66名	出席率 84.85%
欠席者17名(病欠者1名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

### 〈ニコボックス委員会〉

- 樫山 善久君 今月の日本商工会議所の会報「石垣」に当社が記載されているようです。
- 鈴木 敏弘君 11月11日3クラブゴルフコンペに於いて準優勝とクラブ対抗ではロータリー優勝、又ロータリークラブ例会では優勝と、なんかお盆と正月が一度に来た喜びであります。ありがとうございました。
- 石橋 嘉彦君 11月1日の碧南商工会議所臨時議員総会にて副会頭に任命されました。微力ながら努めさせていただきます。
- 黒田 泰弘君 手を深く切ってしまいましたが、ようやく回復してきました。加藤先生には大変お世話になりました。
- 大竹 密貴君 本日、卓話をさせていただきます。どうぞよろしく願います。
- 澤 徹君 本日、卓話を致します。何の為にもなりません、よろしく願ひ致します。

## 卓話

### 「私の履歴書」新入会員 大竹密貴君

こんにちは。只今ご紹介をいただきました大竹密貴です。本日は卓話のお時間をいただきありがとうございます。「私の履歴書」というテーマでお話しさせていただきます。どうぞよろしく願ひいたします。

私は、信貴山真言宗 融通山観音寺の住職をしております。開山60年ほどの新しいお寺です。その3代目住職でございます。

宗派というものには地域性があり、この辺りには、真宗、浄土真宗が多く、真言宗のお寺は少ないです。

さて、私は昭和37年12月21日に、父密清、母美代子の長男として生まれました。今年48才になります。昭和39年生まれ、40年生まれの妹がいます。

現在、妻、中学一年生の長男、小学三年生の次男、母、そして開山以来お寺のお世話をして下さっている杉浦ゆきさん(86才)の6人で暮らしています。

「密貴」という名前についてお話しさせていただきます。得度を受け仏門に入りますときに、師匠である信貴山真言宗管長・大本山玉蔵院貫主 野澤密巖大僧正猊下がご自分のお名前の一字「密」を授けて下さり「密貴」というお名前をつけてくださいました。それまでは「清貴」という名前でした。生まれた時に母がつけてくれました。

私は、父親から一度も寺を継ぎなさいとか、継いでほしいとか言われたことは一度もありませんでした。他のお寺の子のように衣を着てお参りのお手伝いをするとか、お掃除のお手伝いをするとかを全くしたことがありませんでした。さすがにお寺の子なのにお経も知らず何もせず、これでいいのかと心配になり、父に聞いたことがありました。父は、「今は何もしなくていい。お坊さんになるなら高野山に行けば一から全部教えてくれる。子供のお前が今しなければならぬのは勉強だ。勉強のことだけを考えなさい。」と言いました。私は「そうか、今やるべきことは勉強、子供の仕事は勉強なのか。」と思いました。だからといって特別一生懸命勉強したわけはありません。普通に人並みに過ごしてまいりました。自分の将来についてよく考えたことはありませんでした。好きなことをやって、それから適当な時期にお寺に入ればいいかなと漠然と



思っているだけでした。そんな私でしたが、「おはようございます。今日も一日無事に過ごせますようにお願いします。」と毎朝ご本尊様の前で手を合わせてから学校へ行くことだけはしていました。

刈谷北高校へ進学しました。大学では化学を勉強したいと思いました。一年浪人し河合塾へ通い、昭和57年に上智大学理工学部化学科へ進学しました。地元の国立大学への進学しか考えていなかった自分にとって、東京での生活はいろいろな経験、多くのいろいろな人との出会いなどがあり思いのほか世界が大きく広がり、とても勉強になりました。大学4年の時に研究室に配属されてから大学院2年までの3年間は有機合成化学の勉強をしました。とても楽しく充実した毎日でした。

昭和63年、修行のため高野山専修学院に入りました。真言僧侶としての学問(教学)、読経や声明、日常作法、そして行などを一年間で伝授する全寮制の教育機関です。18才から46才までの人が80名ほどいました。生活全般には、多くの規則や制限がありました。高野山は海拔1000メートルほどありますので、冬は寒かったです。一番寒い時はマイナス15度くらいでした。一年間の厳しい修行を終え無事卒業し、平成元年4月より大本山信貴山玉蔵院へ修行にまいりました。管長様、大奥様がとてもかわいがってくださり、たいへん多くの勉強をさせていただきました。

平成4年(1992年)7月に退職し、自坊へ戻りました。厄年の時には、朋友会の会長をさせていただきました。このときにはいろいろなことがありまして、以来大抵のことでは驚かなくなりました。その後、消防第二分団分団長、大浜小学校PTA会長をさせていただきました。ここでもまた、いろいろな人との出会いがあり多くのことを勉強させていただきました。とてもありがたく思っております。

今年二月に碧南ロータリークラブに入会させていただき、早くも9カ月が過ぎました。入会させていただきましたことを心から感謝いたしております。

若輩者ゆえ今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。貴重なお時間をいただき、ご清聴誠にありがとうございました。

## 「私の履歴書」 新入会員 澤 徹君

衣浦グランドホテルの澤です。いつも話すことは1日前に考えることにしてきました。

本日の話も車の中で考えてきました。30分ぐらいにまとめたつもりですが時間がきたらすぐ止めますので言ってください。

私は九州の佐賀県に生まれ、大学が名古屋に来て、そのまま居つくことになりました。生まれた佐賀というのは九州の中でもなかなか場所を当ててもらえない県です。生家は鍋島藩だった場所に代々のお墓があり、なかなかの家だと思っております。佐賀は「龍馬伝」でも描かれているように薩長土肥の時代は活躍しておりましたが、今はそれほど有名ではなくなりました。特産物もあまりなく農業中心の県です。

小さい頃、実家は写真屋をしており弟子もいました。今でも暗室に父と一緒にずーっと入っていたことを思い打します。父の思い出と言えはお見合い用の写真の修正をしていた姿ですが、その父も早くに他界しました。

高校は3年前に高校野球で優勝した佐賀北高校です。佐賀県としてはものすごい出来事でした。大学にはどうしても行きたかったので、貧乏でしたが電話の債権を入学金にあてました。但し、6年間で卒業しました。卒業後はリッカーミシンに入社しましたが、肌に合わなかったので支店長をお願いしてホテル関係の道に進みました。ゴルフ場で報告会をするという仕事内容で非常に



のんびりしてました。3年間博多にいましたが、2年目の時は年に100回以上ゴルフをしていました。そのためシングルを目指していましたが、足を痛めたため断念しました。その後、市内のホテルを辞め河口湖のホテルに入社しました。単身赴任でしたが快適でした。その後、数か所変わり、現在の衣浦グランドホテルに来ました。まだまだ勉強中ですが、RCにも入れてもらいましたので今後とも宜しくお願いいたします。

次回例会案内 平成22年12月1日（水）  
年次総会 次年度理事役員選挙